

平成27年 8月19日

報 告 書

江田島市議会議長 山根 啓志 様

平成27年度議会報告会 3班
江田島市議会議員 班長 登地 靖徳
江田島市議会議員 副班長 山本 秀男
江田島市議会議員 新家 勇二
江田島市議会議員 山本 一也
江田島市議会議員 浜西 金満
江田島市議会議員 林 久光
江田島市議会議員 胡子 雅信
江田島市議会議員 片平 司
江田島市議会議員 吉野 伸康
江田島市議会議員 上松 英邦
江田島市議会議員 浜先 秀二
江田島市議会議員 花野 伸二
江田島市議会議員 中下 修司
江田島市議会議員 上本 一男
江田島市議会議員 酒永 光志
江田島市議会議員 平川 博之

議会報告会に出席しましたので、次のとおり報告します。

1 日程、開催地及び参加人数

	開催日時	会場	参加人数
市内全域	7月25日(土) 午後1時～3時	農村環境改善センター 多目的ホール	17人 (男性：10人，女性：7人)

2 役割（受付、司会、あいさつ、報告者、答弁、記録）

区 分	全 市
司 会	登 地
報 告 者	議会：山 本（秀） 総務：胡 子 文教：山 本（一） 産建：吉 野 交通： 林 広報：上 松
答 弁	全 員
受 付（2名）	林 上 本
記 録（2名）	片 平 平 川

3 報告事項

（1）6月定例会の概要質疑

質疑なし

（2）各常任委員会報告質疑

① 総務常任委員会

質疑なし

② 文教厚生常任委員会

質疑なし

③ 産業建設常任委員会

質疑なし

（3）各特別委員会報告質疑

① 交通問題調査特別委員会

質疑なし

② 議会広報特別委員会

質疑なし

(4) 意見交換会

- ① テーマ：まちづくり
- ② その他（市政に対しての要望等）

Q 1 江田島市社会福祉協議会では 2016 年（平成 28 年）4 月に無料職業紹介所を立ち上げたいと考えています。市内で求職しているところはたくさんあります。お試し暮らしに来られる定住希望の方からも相談があります。市内での求職者と仕事をつなげていきたい。ただ、人件費など 300 万円から 400 万円の経費が必要です。市に要望していきますが、議会も協力してほしい。

A 1 協力していきたい。

Q 2 空き家対策について、全国で 820 万戸程度、江田島市でも増加している。国の政策で、家を建てると特例で固定資産税が安くなる。家を壊し更地にすると 6 倍になる。

A 2 固定資産税 6 倍の問題はその通り、国も空き家対策を進めている。市も空き家対策については、喫緊に対策会議を開くと聞いている。その結果が出ないと答えは難しい。

Q 3 外国人が牡蠣、菊、産業廃棄物等の仕事に従事している。バングラディシュ、インドネシア、フィリピン、中国と 500 人ぐらいいる。ゴミの出し方が日本語で書かれているのでわからない。ビン、カンとか燃えるゴミ、燃えないゴミなど出し方が理解できず、勝手に出して苦情が出ている。言葉の問題について何かしてほしい。

A 3 ①2015 年 4 月 1 日で外国人 558 人。半分は中国人、1/4 がフィリピン人、あとはベトナム、インドネシア、バングラディシュなど 100 人に 2 人が外国人で言葉の問題がネックになっている。総合計画の中に日本語教室を検討している。通訳を雇うなど市民としての生活が出来る講座などを行政へ提案していきたい。昨年国際交流会で消防署の職員が災害時の防災について講座をした。

②ゴミ問題は外国人だけでなく、日本人にもマナーの悪い人が多くいる。どのようにしたら良くなるか行政とも相談して検討をしたい。

③外国人の交流は人権推進課が窓口になって相談に乗っている。

Q 4 女性会では昨年ゴミの処理場を見学に行ったが埋め立て地が満杯に近い。議員もゴミ処理施設の見学勉強をしているのか。

A 4 合併前は江能広域組合があり、旧町で役割分担していた。例えば沖美町は埋め立て処分場、能美町はし尿処理場、大柿町は葬祭センター、江田島町は清掃センター。ゴミの埋め立てセンターは満杯に近づいており、市は新しい土地の選定にとりかかったと聞いている。

- Q 5 昨日の新聞には 2025 年に江田島市の人口は 2 万人を切る。市は 23,000 人を維持したいと言っているが、新聞では危機感がないと書いてあった。
- A 5 今年度に江田島市版の総合戦略を作ります。創生会議の委員は座長に広島県立大学の教授、その他のメンバーは、江田島市 PTA 連合会、漁業振興協議会、商工会、観光協会、金融懇談会、農業委員会、呉ハローワーク、広島県 CCMO、認定子ども園保護者代表、自治会連合会、県子育て・少子化対策課などです。10 年先に 23,000 人を切らないための総合戦略をこれから練っていきます。基本的には第 2 次総合計画で今年から 10 年間の計画があります。そこから更に今年から 5 年間の間で具体的に何をすればよいかという戦略を 10 月までに決定し、来年度の予算に盛り込んでいきます。
- Q 6 人口が減って税金が入ってこないと財政が苦しくなるなかで、市営住宅家賃とか税の滞納対策はどうか。
- A 6 収納については、嘱託徴収員雇用で収納率向上に努めている。市営住宅では悪質滞納者に対しては法的手段（裁判）をとっている。
- Q 7 市主催の講演会には職員は積極的に参加すべきではないか。
- A 7 執行部へ申し入れをします。
- Q 8 三高のフェリーは段差があって車椅子で 1 階の客室に入れない。（市営フェリーは客室に入れた。）
- A 8 車椅子用に段差解消を要望していく。
- Q 9 港には障害者用駐車場があるが、中町港の駐車場に屋根がなく、雨降りは困る。
- A 9 障害者用駐車場屋根の件は当局に要望する。
- Q 10 能美町障害者団体の会長をしている。会員が少なくて存続が危ぶまれるが、個人情報保護法の壁があり障害者の状態が把握できない。
- A 10 市へ要望をしても保護法の関係で難しいと思うが再度要望したい。
- Q 11 まちづくりの基本は人口問題をどうするかであり、良いと思うことは徹底的に具体的に取り組むことをお願いしたい。
- A 11 子どもと高齢者が安心して住める町を目指していけば人口の減少はある程度で止まるのではないか。具体的には執行部と議会で考えないといけない。

- Q12 自治会、老人クラブ、女性会など各種団体では役員の人選に困っている。今の助成金制度でうまく回っているか各町の実態について議員も見えていただいて支援してほしい。
- A12 自治会長を4年間したので大変なことは承知している。地域の人が協力してくれるよう議員として後押ししていきたい。
- Q13 まちづくりの一番大きな担い手は市民に関わる仕事をしている市職員ではないか。職員の方々の熱意が市民に伝わるような仕事ぶりをしてもらいたい。職員の頑張りを見て市民も応援しないといけないという雰囲気になったときに江田島市が再生できるのではないかと自治会活動を通じて感じた。
- A13 平成26年度の総務常任委員会で人事評価・人材育成に関することを重点的に行った。官民一体となって一丸とならないと人口の問題は食い止めることはできない。360人の職員が心を持った住民サービスをやってもらいたい。総務常任委員会に持ち帰って執行部に伝えていきたい。

4 まとめ（所見）

他の4会場と同じく人口減少問題への関心度は高く、地方創生における総合戦略（まち・ひと・しごと創生有識者会議）についての期待度は高い。議会としても市民の声を反映した具体策を執行部へ提言していくことが求められる。

昨年度の参加者アンケートを踏まえて土曜日昼間の報告会を開催したが、参加人数は17人とどまった。今後の課題として、実施時期、曜日、時間帯、会場数及び報告内容等を検証し、次回報告会に反映されるよう協議されることが望まれる。

最後に、このたびの報告会は昨年度に続いて2回目であり、「開かれた議会」への通過点である。全議員は多くの市民の声を受けて市政に反映できるよう議員活動を確認しました。